

CEFR(2001)、CEFR(2020)と、「日本語教育の参照枠」等及び本ワーキンググループにおける検討事項との関連について(案)

CEFR(2001)目次	
第1章	CEFRの政治的および教育的背景
第2章	CEFRの理論的背景
第3章	共通参照レベル
第4章	言語使用と言語使用者/学習者
第5章	言語使用者/学習者の能力
第6章	言語学習と言語能力
第7章	言語教育における課題とその役割
第8章	言語の多様性とカリキュラム
第9章	評価
付録A	言語熟達度の記述文の開発
付録B	能力記述文の例示的尺度

「日本語教育の参照枠」目次	
「日本語教育の参照枠」の検討経緯	
I	1 現状
	2 課題
	3 「日本語教育の参照枠」が目指すもの
	4 「日本語教育の参照枠」が枠組みとしてCEFRを参考にすることについて
「日本語教育の参照枠」について	
II	1 構成
	2 日本語能力観と六つのレベル
	3 全体的な尺度
	4 言語活動ごとの熟達度
	5 活動Can do一覧
	6 方略Can do一覧・テキストCan do一覧
	7 能力Can do一覧
	8 漢字を含む文字の扱いについて
	9 「日本語教育の参照枠」の今後に向けた検討課題
日本語能力評価について	
III	1 「日本語教育の参照枠」における言語教育観に基づく評価の三つの理念
	2 「日本語教育の参照枠」における日本語能力観及び評価の考え方
	3 日本語能力判定のための試験について
参考資料	1 言語能力記述文の作成方法及び検証手法に関するガイドライン
	2 話し言葉の質的側面
	3 JF日本語教育スタンダードについて
	4 就労場面で必要な日本語能力の目標設定ツールについて
	5 評価の種類
	6 日本語の能力判定に係る試験一覧
	7 参考文献
	8 「日本語教育の参照枠」取りまとめまでの沿革
	9 文化審議会国語分科会委員名簿及び審議経過等

「日本語教育の参照枠」の活用のための手引き 目次	
「日本語教育の参照枠」とは	
第1章	1. 「日本語教育の参照枠」とは
	2. 言語教育観、日本語能力観について
	3. 言語能力記述文(Can do)について
	4. 日本語能力の評価について
Can doをベースにしたカリキュラム開発の方法	
第2章	1. コースデザイン
	2. 評価
Can doをベースにしたカリキュラムの事例	
第3章	1. 生活:地域日本語教育における県の事例
	2. 留学:法務省告示校の事例
	3. 就労:定住外国人に対する就職支援事業実施機関の事例
参考資料	1. 「日本語教育の参照枠」全体的な尺度
	2. 「日本語教育の参照枠」言語活動ごとの熟達度

CEFR(2020)補遺版目次	
第1章	序章
第2章	教育と学習のためのCEFRにおける重要な側面
第3章	CEFRの例示的言語能力記述文: コミュニケーション言語活動と方略
第4章	CEFRの例示的言語能力記述文: 複言語・複文化の能力
第5章	CEFRの例示的言語能力記述文: コミュニケーション言語能力
第6章	CEFRの例示的言語能力記述文: 手話能力
付録	1 CEFRレベルの顕著な特徴
	2 自己評価表(オンラインでのやり取り、仲介)
	3 話し言葉の質的側面(音素の把握)
	4 書き言葉の評価表
	5 オンラインでのやり取りと仲介活動についての 言語能力記述文の様々な領域での使用例
	6 例示的言語能力記述文の開発と検証
	7 2001年版の言語能力記述文の変更
	8 補足的な言語能力記述文
	9 新しい言語能力記述文に関する参考文献
	10 オンラインに関する参考文献

本ワーキンググループでの検討事項	
第1回(6/10)	
(1)国内における就労者に対する日本語学習の目標設定	
(2)国内の英語教育におけるCEFR及びCEFR-CVの受容	
・CEFR-CVで設けられた新たな言語活動及びレベルについて	
第2回(7/10)	
(1)フランスにおけるCEFR及びCEFR-CVへの批判	
(2)成人移民に対するフランス語教育と評価	
・複言語、複文化能力について	
・在住外国人に対する入門期の言語学習について	
第3回(9/21)	
(1)高度外国人材に求められる「仲介スキル」	
(2)高度外国人材に求められる「オンライン業務スキル」	
第4回(11/11)	
(1)ドイツにおけるCEFR及びCEFR-CVの受容	
(2)ドイツにおける教員養成について	
第5回(1/13)	
・「日本語教育の参照枠」補遺版取りまとめに係る論点整理	